

学校再開ガイドライン【概要】

	項 目	具体的な対応方法・留意点
登下校	登校前の検温 健康状態確認	<input type="checkbox"/> 「健康チェックカード（検温結果や風邪症状の有無を記載）」を、校舎に入る前に確認 <input type="checkbox"/> 「健康チェックカード」無記入の場合は、その場で検温・健康状態確認
	登 下 校	<input type="checkbox"/> 必ずマスク着用・会話を控える <input type="checkbox"/> 家庭での洗濯が比較的容易な服装（学校指定の体操服、トレーニングウェア等）での登校を可能とする
	分 散 登 校	<input type="checkbox"/> 分散登校の期間は、学校再開後2週間を基本 【小・中学校】地域の実情を踏まえ、登校する児童生徒の状況も勘案し、分散登校の期間を短縮可 <input type="checkbox"/> 児童生徒を複数のグループに分けた上で、それぞれが限られた時間、日において登校 【小・中学校】分散登校の方法は、地域の実情を踏まえ、適切な方法を検討・実施
	登校後の手洗い	<input type="checkbox"/> 手指消毒液により消毒後入校（手指消毒液の確保が困難な場合には、入校後速やかに手洗い実施）
衛生管理	登校後の体調 不良への対応	<input type="checkbox"/> 体調に異変を感じたらすぐに、近くの教職員に連絡 <input type="checkbox"/> 職員室や保健室の近くに待機室を確保（体調不良の児童生徒を保護者の迎えがあるまで待機させる別室）
	咳エチケット	<input type="checkbox"/> 児童生徒・教職員とも、必ずマスクを着用（登下校・在校時・すべての児童生徒・教職員）
	教室換気	<input type="checkbox"/> 教室の窓やドアを休み時間ごとに開放 <input type="checkbox"/> 授業時間中も気候上可能な限り常時、可能であれば2方向の窓を同時に開放（エアコン使用時を含む）
	座席配置	<input type="checkbox"/> 各教室において、児童生徒間の距離を1～2m程度以上保つように座席を配置
	校内清掃	<input type="checkbox"/> 1日2回（昼・放課後等）、消毒液を使用して清掃・確認
	衛生管理体制	<input type="checkbox"/> 学校再開前に、学校医等により確認 <input type="checkbox"/> 学校再開後も、週1回、学校医等の確認を実施
教育活動等	教科指導	<input type="checkbox"/> 近距離での作業、身体接触を伴う活動は回避 <input type="checkbox"/> 飛沫飛散等が懸念される歌唱・楽器演奏、調理実習は当分見合わせ、年間指導計画の実施時期を変更 <input type="checkbox"/> グループや少人数による話し合い・教え合いなどの活動はできるだけ控える
	集会・学校行事	<input type="checkbox"/> 集会は、放送設備等を活用するなどして大人数による活動は回避 <input type="checkbox"/> 児童生徒が密集して長時間活動する学校行事（体育祭・文化祭・校外研修等）は、延期又は中止 <input type="checkbox"/> 修学旅行等、宿泊やバスで等での移動により集団感染のリスクが高い行事は、延期又は中止
	給食・昼食	<input type="checkbox"/> 児童生徒の家庭状況、地域の実情等から、学校給食を実施する場合には、以下の点に十分留意して実施 <献立> <ul style="list-style-type: none"> ・ 可能な限り、品数の少ない献立（例えば、主菜と具沢山の汁物等）や小分け済みの形（弁当方式）を工夫 ・ 簡易な給食（パン・牛乳等）との併用などを工夫 <準備・配膳・片付け> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手洗い（手指消毒）、うがいの徹底 ・ 給食当番（児童生徒等及び教職員）について、「下痢、発熱、腹痛、嘔吐の症状の有無」「手指の確実な洗浄」「衛生的な服装」を確認し、給食当番の可否を毎日点検後、給食当番が配膳（教職員のみが配膳することも検討） ・ 喫食開始までの間、すべての児童生徒等がマスクを着用 ・ 正しいマスクの外し方（必ず耳かけのところだけ触れて外す＝前面は触らない）を指導 ・ 配膳台を消毒液で洗浄し片付け（毎日、担任による給食用具の衛生管理確認） <喫食時> <ul style="list-style-type: none"> ・ 給食・昼食時は会話を控える ・ 机を向かい合わせにせず、児童生徒等の間隔を1～2m程度離す ・ 必ず学級担任等が在室し児童生徒等の活動を見届け指導
	部 活 動	<input type="checkbox"/> 分散登校中は、部活動を行わない <input type="checkbox"/> 部活動再開後は、基礎的活動に限るなど練習方法を工夫し、対外試合や合同練習は当分の間、行わない
夏休み等の取扱い	<input type="checkbox"/> 長期休業期間の短縮、土曜日の授業実施等、授業時間確保の方法を検討	
日常の確認	<input type="checkbox"/> 毎日、全ての教職員がチェックリストにより確認	
心のケア対策	<input type="checkbox"/> 「心のアンケート」を実施（5/22、6/5、6/19） <input type="checkbox"/> スクールカウンセラー等を活用した個別面談	
出席停止等の考え方	<input type="checkbox"/> 児童生徒・教職員に感染等が発生した場合の対応を整理	

※ 特別支援学校では、さらに以下の点について留意

- ・ スクールバスは、車内での3つの密を避けるため1/2程度座席を空けて運行
- ・ 食事指導やトイレ指導では身体的接触があることから、マスクの他、使い捨て手袋やエプロン等を着用するなどの更なる対策を徹底
- ・ 医療的ケア対象児童生徒及び基礎疾患のある児童生徒は、使用教室や動線を他の児童生徒と区別するなどの更なる対策を徹底
- ・ 寄宿舎においては、個室での対応を基本とし、3つの密を回避すべく、上記の対応に準じ感染対策を実施